

令和6年度 指定管理業務 実績評価シート

基本様式

作成年月日

令和7年6月26日

部課名 健康こども部こども家庭課

施設名	弘前市致遠児童センター・弘前市西部児童センター・弘前市岩木児童センター
施設の設置目的	児童福祉法第40条に基づく施設として、児童福祉の向上に資することを目的とする。
所在地	別紙
指定管理者名	一般財団法人 医療と育成のための研究所 清明会
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで
1 事業計画の実施状況 感染症等の流行が見られたが、事業計画通り実施されており、適正な管理運営が行われている。	
2 市民サービス向上のための取組状況 ベビーサークル等への施設開放の実施により、地域に開かれた施設運営を行っている。 児童館延長利用事業を実施し、利用者サービスの向上を図っている。 利用希望調査を行い、12月29～31日の開館を行っている。 地域の団体との交流事業を積極的に取り入れている。	
3 市民ニーズの把握の実施状況 利用者アンケートを実施(令和7年1月～2月)し、その結果を運営に反映している。 苦情受付について施設内に掲示し、周知を行っている。 利用者からの意見・要望に適切に対応している。	
4 施設の利用状況（利用者数、稼働率など） (致遠児童センター) 令和5年度 年間:30,841人/294日(104.9人/日)→令和6年度 年間:35,179人/296日(128.9人/日) (西部児童センター) 令和5年度 年間:9,407人/294日(32.0人/日)→令和6年度 年間:10,534人/293日(36.0人/日) (岩木児童センター) 令和5年度 年間:35,630人/294日(121.2人/日) →令和6年度 年間:33,926人/295日(115.0人/日) 致遠・西部児童センターについては、登録児童数が増加し、利用児童数は前年度より増加している。	
5 指定管理業務の収支状況 物価高騰の影響を受けながらも、全体としてみると、収支のバランスはとれている。	

6 実地調査の結果

利用者の安全確保に留意し、施設・設備の良好な維持管理が行われている。また、児童厚生施設として必要な各事業を感染症の予防対策を行ったうえで実施したほか、利用者及び関係団体の意見の把握、個人情報管理、施設の効率的運用、経費削減に関する取り組み、環境への配慮等、施設を適切に管理運営しており、児童の健全育成を通じた住民の福祉の向上に寄与している。

7 成果指標の達成度

成果指標は施設利用満足度としている。

3施設あわせた満足度は、前年度(R5年度・前指定管理者)85.2%に対して今年度(R6年度)82.0%となっており、達成度は「96.2%」となった。

8 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	職員の配置・研修、利用者ニーズの把握など、適正に運営できたと考える。また、これまで継続していた事業に関しては、全指定管理者から引き継ぎ、さらなるサービスの向上を図った。	利用児童数が多いが、児童の安心・安全を第一に考え、今後もより一層職員の資質向上を図るとともにサービス向上に努めていく。
施設の管理	B	安全計画に基づき、施設、遊具点検や避難訓練を毎月実施した。また、室内外の清掃や衛生管理、整備などに務めたが、備品等の保守管理については改善が必要である。	引き続き施設の維持管理に努め、修繕などは必要に応じて市と協議のうえ、対応策の検討などを行っていく。
経理の状況	A	指定管理運営におけるノウハウがないため、備品購入等の初期費用は保育園で立替、年度末の決算時に精算するなど石橋を叩いて渡る運営となった。この1年間の実績をベースに、次年度以降は安定した運営を心掛けていきたい。	人件費における保育園との格差は正は課題となるが、職員は保育園より児童センターの勤務を望んでいる。勤務形態・職務内容も違うため、同じ土俵での雇い入れや処遇改善は厳しいと考えるが、福利厚生費については同等としたい。
団体の財務状況	B	団体の財政状況は、入所児童数も安定しており、今のところは盤石である。	職員不足により、学童保育の提供に支障をきたすことがないよう、善処したい。選ばれる施設運営をめざし尽力していきたい。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	利用者ニーズに対応しながら、法令等の遵守、公平性、開館時間、学校や地域と連携した事業計画等が適切に実施されている。	地域に開かれた施設運営を意識し、今後も更にサービスの向上に努めていただく。
施設の管理	B	利用者の安全を第一に考えた対策や、施設・設備の維持管理等が適正に実施されている。	安全計画に基づいた研修や訓練を行い、職員の連携を図っていただく。修繕が必要な箇所等については、優先度が高いものから計画的に実施していく。

経理の状況	B	物価高騰の影響を受けながらも、全体として収支のバランスはとれている。帳簿等の整備、経理の区分は適正である。	今後も計画的に予算を執行し、適正な経理を行っていただく。
団体の財務状況	B	安定的な経理的基盤を有し、適切なものとなっている。	今後も安定した財務状況を維持していただく。

【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの（適正な管理運営に加えて、更なる取り組みや成果があると評価できるもの）
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの（軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの）
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する

別紙

番号	名 称	所 在 地
1	弘前市致遠児童センター	弘前市大字浜の町北一丁目8番地1
2	弘前市西部児童センター	弘前市大字高杉字神原93番地2
3	弘前市岩木児童センター	弘前市大字五代字田屋敷182番地